

国内における中期経営計画(リバイズ)の取り組み

コスト構造改革

コスト構造改革はプラス・マイナス両方の要素がありつつ、おおむね見込み通りの水準で進捗。為替影響や原材料の高騰もあり削減効果は約60億円にとどまる見込みのため、追加アクションを検討・実施

実施項目	具体的な取り組み	実施時期	中計リバイズ 当初目標	24/3期～ 25/3期	26/3期	3カ年効果 見込み
ブランドの集中と選択	<ul style="list-style-type: none"> ●品番集約等による返品・値引き損削減（構成ライン約4割、品番数1割超の削減） ●販売価格設定の見直し 	●構成ラインの集約については、24年秋冬シーズンから開始し、25/3期中に完了	19億円	5億円	19億円	24億円
製造コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ●検査工程の効率化 ●品番集約による工数削減など 	●25/3期までに完了	6億円	3億円	3億円	6億円
生産や材料のコストダウン	<ul style="list-style-type: none"> ●生産体制の見直し ●資材やマスターカラーの集約 	●25/3期までに完了	4億円	2億円	6億円	8億円
店舗損益の改善	<ul style="list-style-type: none"> ●得意先との取引条件の見直し ●赤字店舗の撤退(最大32店舗) ●生産性改善に向けた人員の適正化 	●24/3期中に、赤字店舗及び取引条件の改定が見込めない店舗の撤退検討	9億円	10億円	3億円	13億円
希望退職の募集	<ul style="list-style-type: none"> ●生産性改善に向けた人員の適正化 	●24/3期までに完了	9億円	4億円	2億円	6億円
その他販促費などの適正化	<ul style="list-style-type: none"> ●IT費用の適正化 ●広告販促費の適正化 	●25/3期までに完了	16億円	9億円	11億円	20億円
流通コストの低減ほか	<ul style="list-style-type: none"> ●流通事業収益性改善 	●25/3期までに完了	6億円	0億円	4億円	4億円
為替影響・原価高騰による24/3期の原価悪化影響				▲20億円	—	▲20億円
合計			70億円	約13億円	約48億円	約61億円